

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】<http://japan.renesas.com/inquiry>

## ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。  
標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット  
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）  
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサスエレクトロニクス株式会社およびルネサスエレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

# AC05DJM, AC05DJM-Z AC05FJM, AC05FJM-Z

## 5 A モールド TRIAC

AC05「」JM, AC05「」JM-Zは、実効オン電流 5 A の全拡散形モールド TRIAC で、繰り返しピークオフ電圧は 400 V, 600 V です。

### 特 徴

- ハイブリッド IC に最適な面実装外形 (AC05「」JM-Z) を採用しています。
- ゲートトリカ感度が高く、また保持電流の分布も小さいため自由度の高い応用設計が可能です。
- 難燃性エポキシ樹脂採用。(UL94V-0)

### 品質水準

- 標準 (一般電子機器用)

品質水準とその応用分野の詳細については当社発行の資料「NEC 半導体デバイスの品質水準」(IEI-620) をご覧ください。

### 用 途

- モータ速度制御
- ヒータ温度制御
- ランプ調光
- 各種無接点スイッチ

### 最大定格

項 目	略 号	AC05DJM, AC05DJM-Z	AC05FJM, AC05FJM-Z	単 位
非繰り返しピークオフ電圧	$V_{DSM}$	500	700	V
繰り返しピークオフ電圧	$V_{DRM}$	400	600	V
実 効 オ ン 電 流	$I_{T(RMS)}$	5 ( $T_C=104^\circ\text{C}$ )		A
サ ー ジ オ ン 電 流	$I_{TSM}$	50 (50 Hz, 1 サイクル) 55 (60 Hz, 1 サイクル)		A
電 流 二 乗 時 間 積	$\int i_T^2 dt$	10 ( $1 \text{ ms} \leq t \leq 10 \text{ ms}$ )		$\text{A}^2\text{s}$
臨 界 オ ン 電 流 上 昇 率	$dI_T/dt$	50		$\text{A}/\mu\text{s}$
ピ ー ク ゲ ー ト 損 失	$P_{GM}$	3 ( $f \geq 50 \text{ Hz}$ , $\text{Duty} \leq 10 \%$ )		W
平 均 ゲ ー ト 損 失	$P_{G(AV)}$	0.3		W
ピ ー ク ゲ ー ト 電 流	$I_{GM}$	$\pm 1.5$ ( $f = 50 \text{ Hz}$ , $\text{Duty} \leq 10 \%$ )		A
接 合 温 度	$T_j$	$-40 \sim +125$		$^\circ\text{C}$
保 存 温 度	$T_{stg}$	$-40 \sim +150$		$^\circ\text{C}$

電気的特性 (T<sub>a</sub> = 25 °C)

項目	略号	条件	MIN.	TYP.	MAX.	単位	
繰り返しピークオフ電流	I <sub>DRM</sub>	V <sub>DM</sub> =V <sub>DRM</sub> T <sub>j</sub> =25 °C	—	—	100	μA	
		T <sub>j</sub> =125 °C	—	—	1	mA	
オン電圧	V <sub>TM</sub>	I <sub>TM</sub> =5 A	—	—	1.8	V	
ゲートトリガ電流	I <sub>GT</sub>	V <sub>DM</sub> =12 V R <sub>L</sub> =30 Ω	T <sub>2</sub> +, G+	—	—	10	mA
			T <sub>2</sub> -, G+	—	—	—	
			T <sub>2</sub> -, G-	—	—	10	
			T <sub>2</sub> +, G-	—	—	10	
ゲートトリガ電圧	V <sub>GT</sub>	V <sub>DM</sub> =12 V R <sub>L</sub> =30 Ω	T <sub>2</sub> +, G+	—	—	1.5	V
			T <sub>2</sub> -, G+	—	—	—	
			T <sub>2</sub> -, G-	—	—	1.5	
			T <sub>2</sub> +, G-	—	—	1.5	
ゲート非トリガ電圧	V <sub>GD</sub>	T <sub>j</sub> =125 °C, V <sub>DM</sub> = $\frac{1}{2}$ V <sub>DRM</sub>	0.2	—	—	V	
保持電流	I <sub>H</sub>	V <sub>DM</sub> =24 V, I <sub>TM</sub> =5 A	—	10	—	mA	
臨界オフ電圧上昇率	dv/dt	T <sub>j</sub> =125 °C, V <sub>DM</sub> =270 V	—	100	—	V/μs	
転流時臨界オフ電圧上昇率	(dv/dt) <sub>c</sub>	T <sub>j</sub> =125 °C (di <sub>T</sub> /dt)=-2.7 A/ms V <sub>D</sub> =400 V	5	—	—	V/μs	
熱抵抗(注)	R <sub>th(j-c)</sub>	接合-ケース間	—	—	3	°C/W	
	R <sub>th(j-a)</sub> *	接合-周囲間	—	—	62.5		

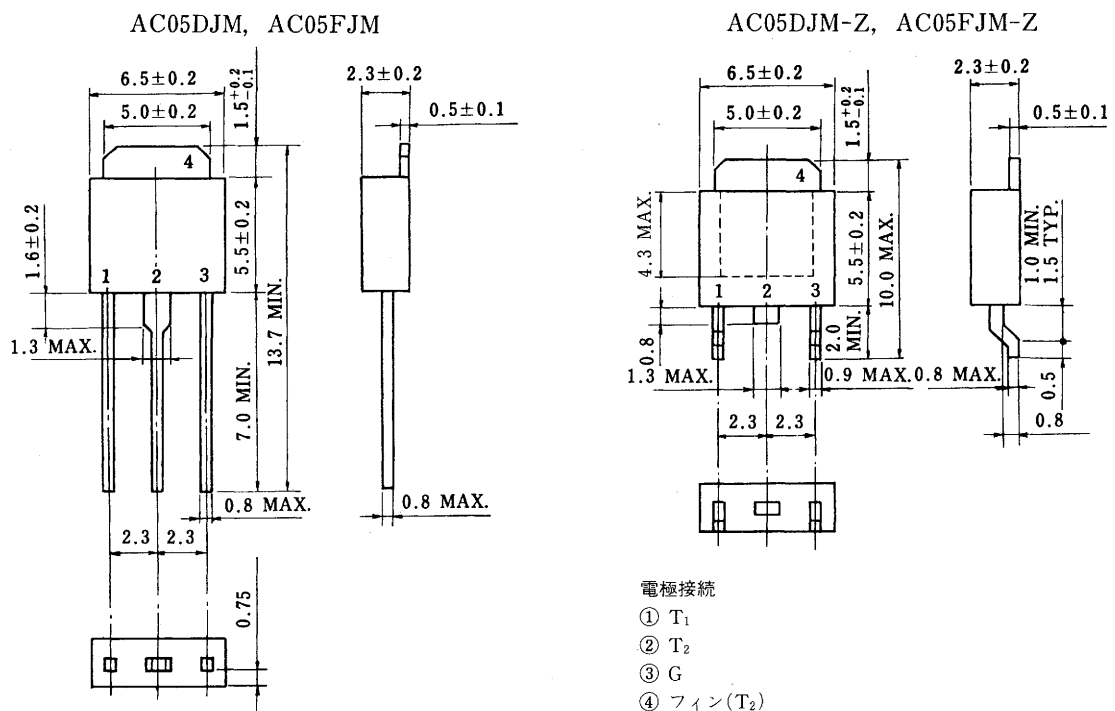
\*0.7×7.5 cm<sup>2</sup>のセラミック基板使用時

(注) 50 Hz, 60 Hzの正弦波電流における熱抵抗で、次式によって表わされます。

$$R_{th(j-c)} = \frac{T_{j(max)} - T_c}{P_{T(AV)}}$$

ここで T<sub>j(max)</sub>: 最大接合温度  
T<sub>c</sub>: ケース温度  
P<sub>T(AV)</sub>: 平均オン損失

外形図 (単位: mm)



特性曲線 ( $T_a = 25^\circ\text{C}$ )

図1  $i_T-v_T$ 特性

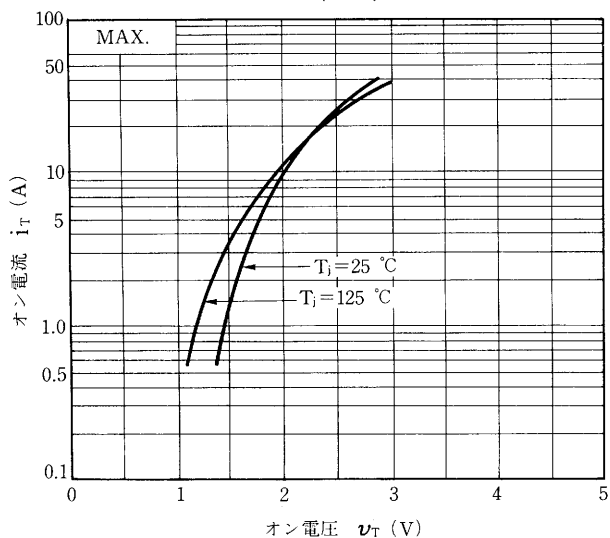


図2  $I_{TSM}$  定格

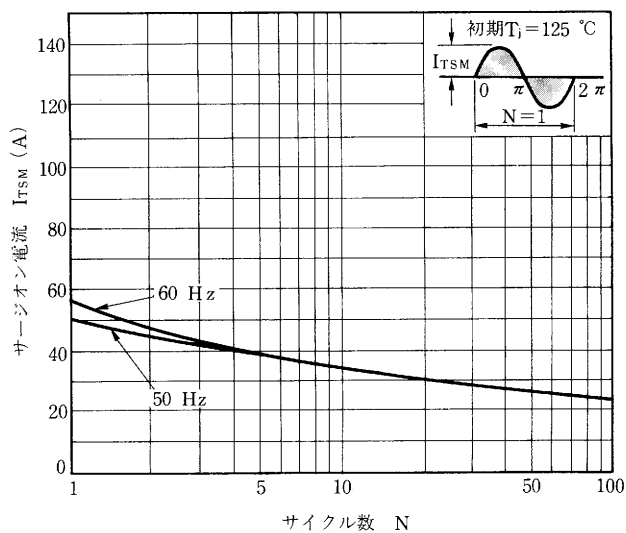


図3 ゲート特性

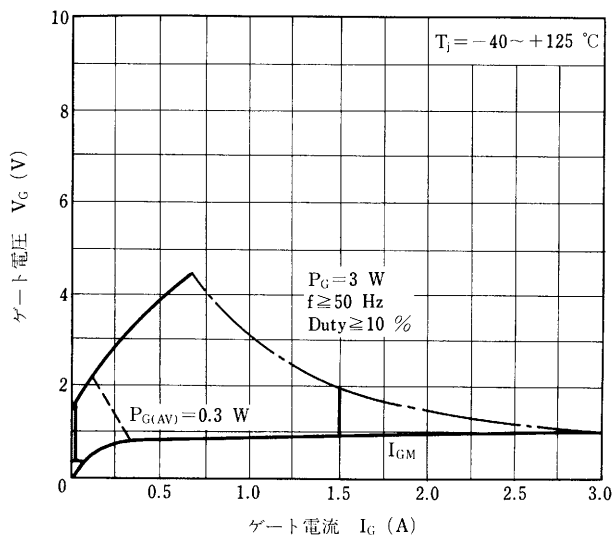


図4 ゲート特性例

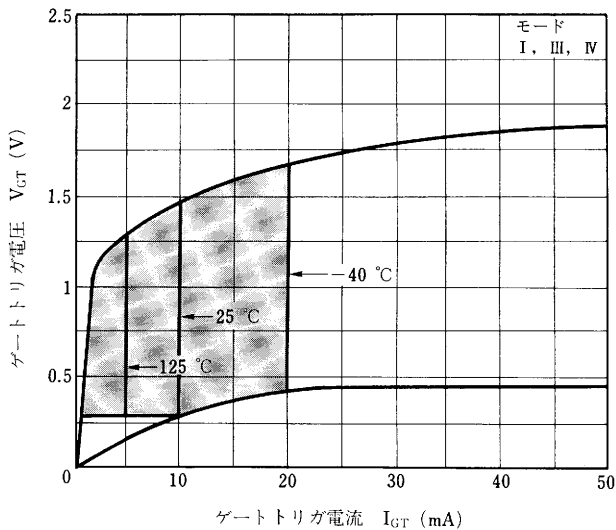


図5  $I_{GS}-T_a$  特性例

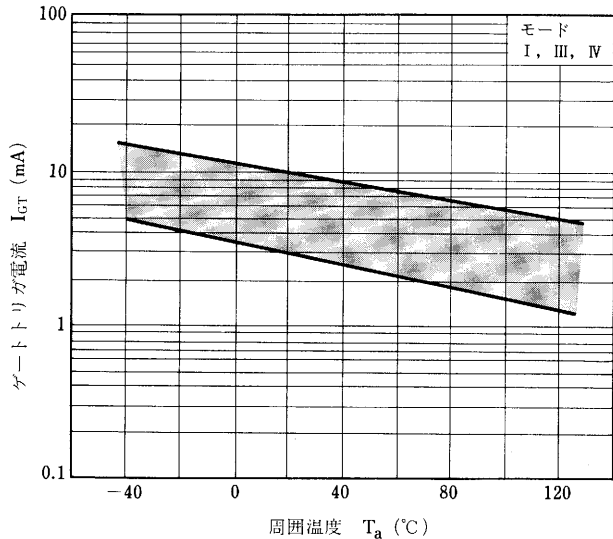


図6  $V_{GS}-T_a$  特性例

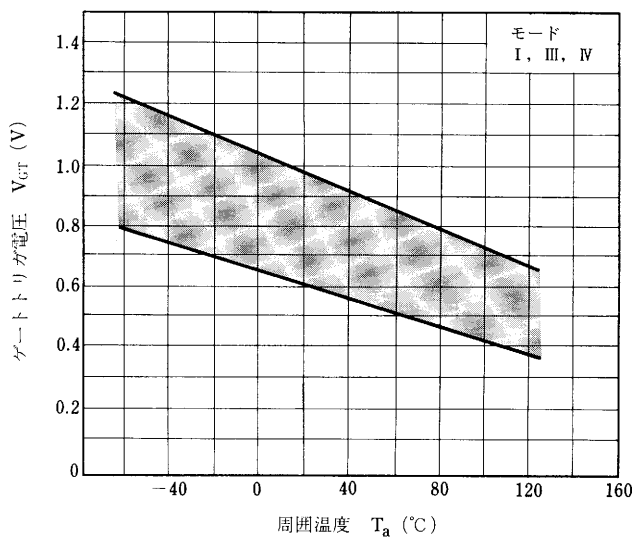


図7  $i_{GT} - \tau$  特性例

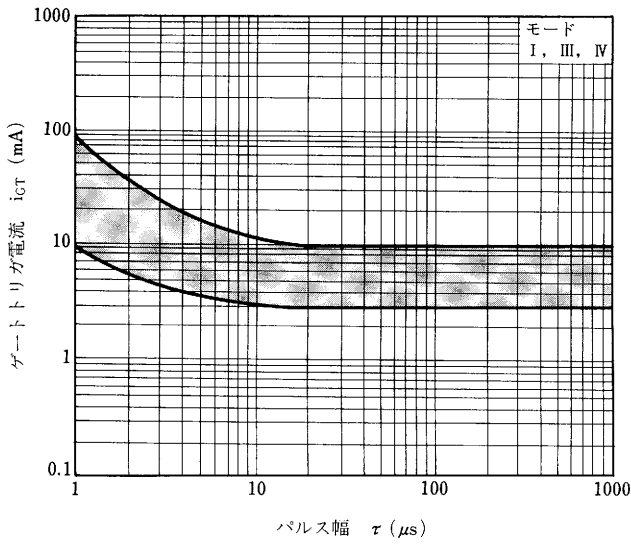


図8  $v_{GT} - \tau$  特性例

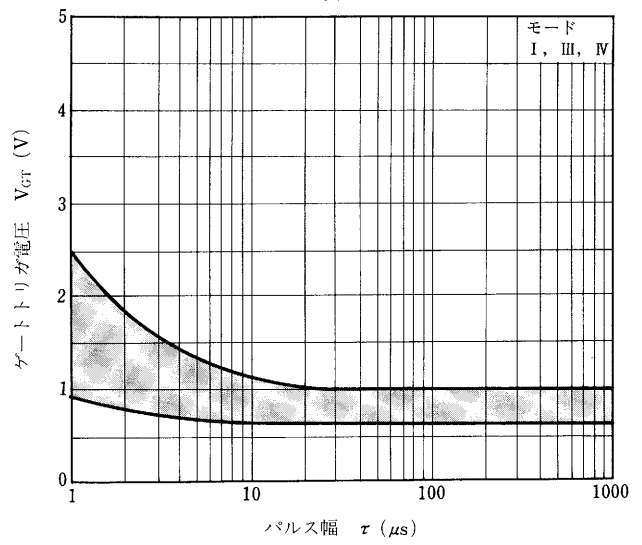


図9  $I_H - T_a$  特性例

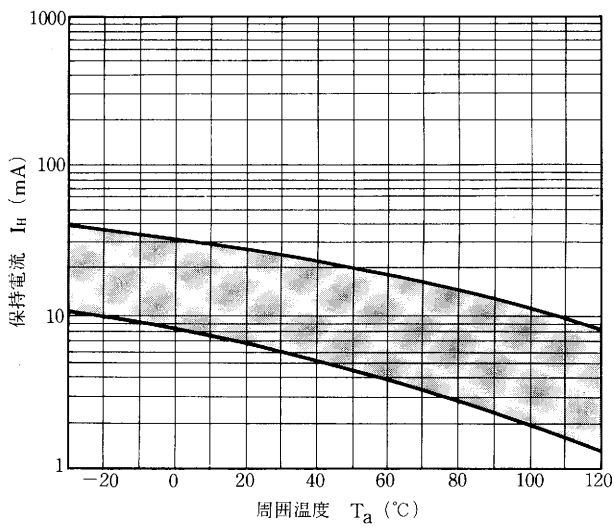


図10  $P_{T(AV)} - I_{T(RMS)}$  特性

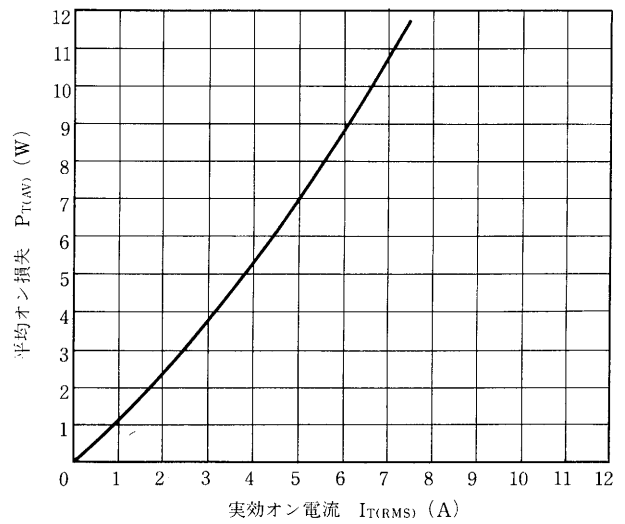


図11  $T_c - I_{T(RMS)}$  定格

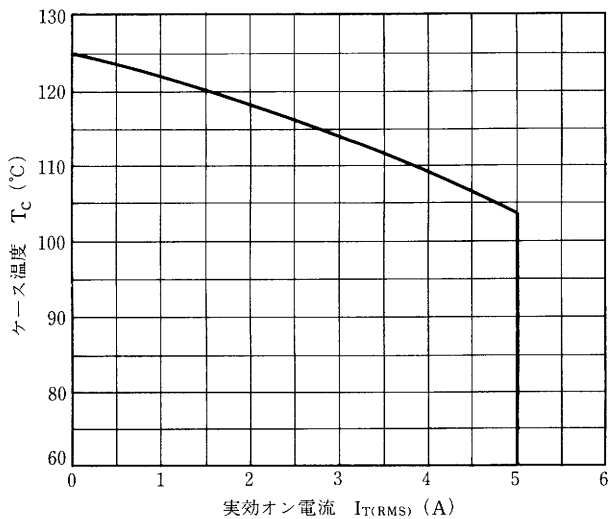


図12  $T_a - I_{T(RMS)}$  定格

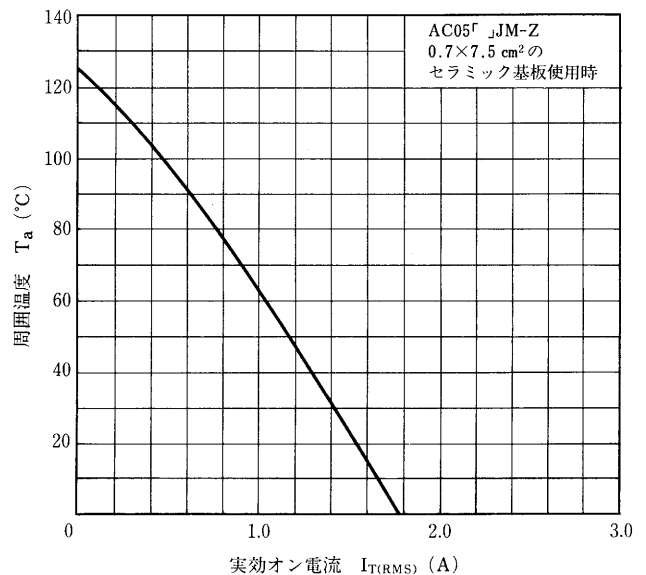
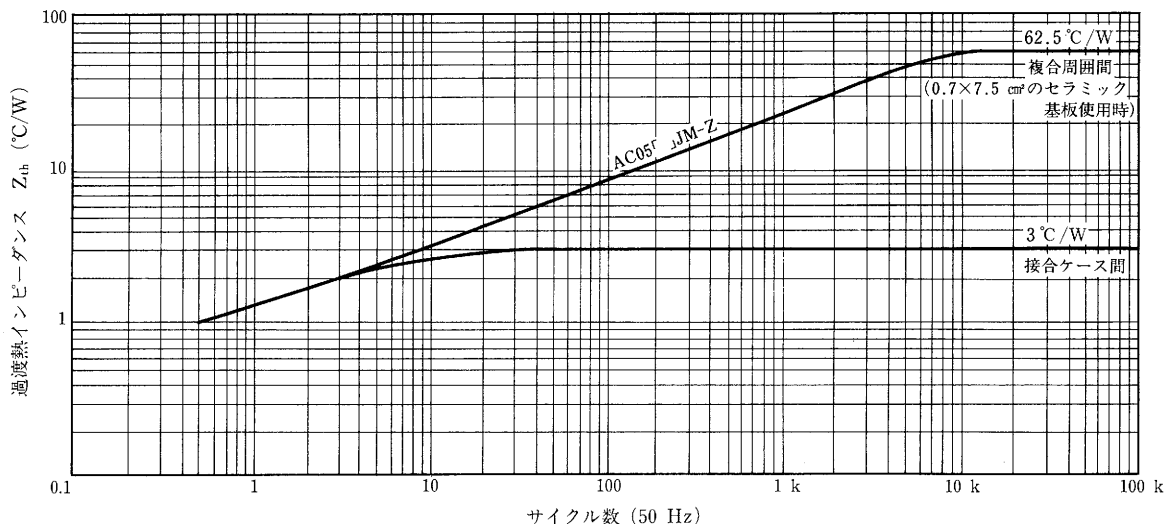


図13 Z<sub>th</sub> 特性



- 文書による当社の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。
- 本資料に記載された製品の使用もしくは本資料に記載の情報の使用に際して、当社は当社もしくは第三者の知的所有権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。上記使用に起因する第三者所有の権利にかかわる問題が発生した場合、当社はその責を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当社は品質、信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生します。当社半導体製品の故障により結果として、人身事故、火災事故、社会的な損害等を生じさせない冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等安全設計に十分ご注意願います。
- 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「特別水準」およびお客様に品質保証プログラムを指定して頂く「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認の上ご使用願います。
  - 標準水準：コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット
  - 特別水準：輸送機器（自動車、列車、船舶等）、交通用信号機器、防災／防犯装置、各種安全装置、生命維持を直接の目的としない医療機器
  - 特定水準：航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器、生命維持のための装置またはシステム等
- 当社製品のデータ・シート／データ・ブック等の資料で、特に品質水準の表示がない場合は標準水準製品であることを表します。当社製品を上記の「標準水準」の用途以外でご使用をお考えのお客様は、必ず事前に当社販売窓口までご相談頂きますようお願い致します。
- この製品は耐放射線設計をしておりません。

参考資料一覧表

技 術 資 料 名	資 料 No.
TRIAC 使用上の注意	SEB-514
コンデンサモードに於ける TRIAC 使用上の注意	SEA-504
絶縁形 TRIAC シリーズとその応用	SEA-503
サイリスタのパルス及び高周波電流定格について	SEB-517
トライアックの短パルス, 幅サージ電流定格とコンデンサモータ制御への適用例	SEB-501
TRIAC 入門 (小中電力半導体, データ・ブックに記載)	SA-103
NEC 半導体デバイスの信頼性品質管理	TEM-521
半導体デバイスの品質保証ガイド	MEI-603
半導体デバイス実装マニュアル	IEI-616

- 文書による当社の承諾なしに本資料の転載複製を禁じます。
- この製品を使用したことにより, 第三者の工業所有権等にかかわる問題が発生した場合, 当社製品の構造製法に直接かかわるもの以外につきましては, 当社はその責を負いませんのでご了承ください。
- 当社は, 航空宇宙機器, 海底中継器, 原子力制御システム, 生命維持のための医療用機器などに推奨できる製品を標準的には用意しておりません。当社製品をこれらの用途にご使用をお考えのお客様, および, 『標準』品質水準品を当社が意図した用途以外にご使用をお考えのお客様は, 事前に販売窓口までご連絡頂きますようお願い致します。

当社推奨の用途例

標準: コンピュータ, OA機器, 通信機器, 計測機器, 工作機械, 産業用ロボット, AV機器, 家電等  
 特別: 輸送機器 (列車, 自動車等), 交通信号機器, 防災/防犯装置等

- この製品は耐放射線設計をしておりません。

M4 92.6

お問い合わせは, 最寄りの NEC へ

本 社	〒108-01 東京都港区芝五丁目7番1号 (NEC本社ビル)	北海道支社	(011)231-0161	札幌支社	(011)231-0161	立千支社	(0425)26-5981	川支社	(0425)26-5981
コンシューマ半導体販売事業部		東北支社	(022)261-5511	仙台支社	(022)261-5511	千葉支社	(043)238-8116	津支社	(043)238-8116
OA半導体販売事業部	〒108-01 東京都港区芝五丁目7番1号 (NEC本社ビル)	北手支社	(0196)51-4344	盛山支社	(0196)51-4344	静沼支社	(054)255-2211	松支社	(054)255-2211
インダストリー半導体販売事業部	東京 (03)3454-1111	山形支社	(0236)23-5511	郡支社	(0236)23-5511	浜支社	(0559)63-4455	津支社	(0559)63-4455
中部支社半導体販売部	〒460 名古屋市中区栄四丁目14番5号 (松下中日ビル)	いわき支社	(0249)23-5511	支店	(0249)23-5511	北支店	(053)452-2711	松支店	(053)452-2711
	名古屋 (052)242-2755	長水支店	(0258)36-2155	支店	(0258)36-2155	福支店	(0762)23-1621	山支店	(0762)23-1621
関西支社半導体販売部	〒540 大阪市中央区城見一丁目4番24号 (NEC関西ビル)	神奈川支店	(0258)36-2155	支店	(0258)36-2155	京支店	(0764)31-8461	山支店	(0764)31-8461
	大阪 (06)945-3178	馬支店	(0292)26-1717	支店	(0292)26-1717	神支店	(075)344-7824	都支店	(075)344-7824
	大阪 (06)945-3200	太支店	(045)324-5511	支店	(045)324-5511	中支店	(078)332-3311	戸支店	(078)332-3311
	大阪 (06)945-3208	群支店	(0273)26-1255	支店	(0273)26-1255	鳥支店	(082)242-5504	取支店	(082)242-5504
		山支店	(0276)46-4011	支店	(0276)46-4011	高支店	(0857)27-5311	松支店	(0857)27-5311
		宮支店	(0286)21-2281	支店	(0286)21-2281	野支店	(086)225-4455	山支店	(086)225-4455
		都支店	(0285)24-5011	支店	(0285)24-5011	国支店	(0878)36-1200	高支店	(0878)36-1200
		野支店	(0262)35-1444	支店	(0262)35-1444	新支店	(0897)32-5001	居支店	(0897)32-5001
		小支店	(0263)35-1666	支店	(0263)35-1666	松支店	(0899)45-4111	山支店	(0899)45-4111
		長支店	(0266)53-5350	支店	(0266)53-5350	州支店	(092)271-7700	福支店	(092)271-7700
		水支店	(0552)24-4141	支店	(0552)24-4141	北支店	(093)541-2887	九支店	(093)541-2887
		神支店	(048)641-1411	支店	(048)641-1411				
		太支店		支店					
		甲支店		支店					
		玉支店		支店					

(技術お問い合わせ先)

半導体応用技術本部 汎用デバイス技術部	〒210 川崎市幸区塚越三丁目484番地	川 崎	(044)548-7914	半導体応用技術本部	
半導体応用技術本部 中部応用システム技術部	〒460 名古屋市中区栄四丁目14番5号 (松下中日ビル)	名 古屋	(052)242-2762	インフォメーションセンター	
半導体応用技術本部 西日本応用システム技術部	〒540 大阪市中央区城見一丁目4番24号 (NEC関西ビル)	大 阪	(06)945-3383	FAX(044)548-7900	
				(FAXで対応させていただきます)	